

太子堂調理場の老朽度の調査結果を踏まえた大規模改修工事等の実施について

(付議の要旨)

太子堂調理場は、築40年以上経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。老朽箇所の大規模改修工事を実施し、15～20年程度の調理場機能存続を図る。また、改修期間中の生徒等への影響をできるだけ少なくするために、太子堂調理場搬送校の一部を親子調理方式に転換する。

1. 主旨

太子堂調理場は、給排水管等の劣化や厨房機器の不調など、施設・設備の著しい老朽化が進んでおり、改修を前提に現況の設備状況を判断するため、平成27年度に躯体及び配管についての老朽度調査を行った。この度、老朽度調査結果を踏まえ、今後の取組み方針をまとめたので報告する。

2. 老朽度調査の結果

- (1) 躯体調査では、建物各所にひび割れ、鉄筋の露出・錆等が確認され、一部天井面等にモルタルの剥離、剥落があった。また、躯体(コンクリート)の中性化の進行は、非常に遅いと推測され、圧縮強度については、過去(平成8年度)の耐震診断の数値と比較して大きな差異はなく、経年によるコンクリート強度の低下はなかった。
- (2) X線撮影による設備配管調査では、給水管(屋上高架水槽からの主管)、給湯管(地下1階機械室内の主管)、蒸気管(地下1階機械室内の補給水管)に大きな劣化(腐食、管厚の肉薄化、接合部の劣化等)が確認された。

3. 今後の取組み方針

- (1) 今回の老朽度調査の結果で判明した施設の老朽箇所を改善するため、大規模改修工事を行う。また、主要な厨房機器の更新も行い、次期厨房機器・設備の更新時期ともなる15～20年程度の機能存続を図る。
- (2) 改修期間中の生徒等への影響をできるだけ少なくするため、太子堂調理場搬送対象7校のうち、松沢中学校・八幡中学校を物品購入等により親子調理方式の子校に転換する。
- (3) 引き続き太子堂調理場搬送対象となる5校(太子堂中、駒沢中、緑丘中、駒留中、千歳中)については、中期的な計画のもと、学校の改築・大規模改修等の機会を捉えて自校調理化を図る。

4．大規模改修工事の期間と時期

- (1) 工事期間は、施設全体にわたる改修となるため、開設準備期間を含め、8ヶ月程度を見込んでいる。
- (2) 工事時期は、生徒等への影響を少なくするため、改築中の学校がない時期を考慮し、平成31年7月下旬から翌年3月下旬までとする。

5．改修期間中の給食対応

改修期間中の給食（夏休み明けの平成31年9月から翌年の3月までの期間）については、基本的には家庭からの弁当持参とする。

6．大規模改修工事等の主な内容

- (1) 建物内部・外部のひび割れ、老朽箇所等の補修
- (2) 調理室、洗浄室、下処理室の床改修（ドライ化）
- (3) 配管（給水、給湯、排水、蒸気）の全面更新
- (4) 給排気設備（ファン、ダクト、給排気口等）の更新及び補修
- (5) 電気設備の更新（天井照明、劣化配線等）、エアコンの設置
- (6) 厨房機器（炊飯システム、食器洗浄機、オーブン等）設備の更新

7．概算経費

- (1) 太子堂調理場大規模改修に係る概算経費（4億1,700万円）
 - 改修実施設計 1,700万円
 - 改修工事 3億円（実施設計による）
 - 機器購入費 1億円（上記6.(6)）
- (2) 親子調理化に係る概算経費（1,640万円）
 - 松沢中 640万円（子校とするための備品購入等）
 - 八幡中 1,000万円（子校とするための備品購入、保管庫増設等）

8．今後の予定

平成28年8月23日	教育委員会報告
9月1日	文教常任委員会報告
平成31年7月下旬	太子堂調理場 大規模改修工事着工
平成32年2月下旬	太子堂調理場 大規模改修工事竣工
3月	開設準備
4月	開設（太子堂調理場での調理再開）